

釜無川国営施設機能保全事業

徳島頭首工補修工事

徳島頭首工は、山梨県中北地域の韮崎市に在り、釜無川より取水を行っている農業水利施設です。この頭首工より取水された水は、徳島用水路を通じて、下流の韮崎市、南アルプス市の水田・畑(受益面積1,930ha)へ配水されています。

徳島頭首工は、昭和40～49年度に国営釜無川右岸土地改良事業により整備されましたが、事業完了後、経年に伴い摩耗、ひび割れ等の発生が生じていることから、今回、釜無川国営施設機能保全事業により、施設の機能保全整備計画に基づく長寿命化対策を行い、農業用水の安定供給を図ることとされています。

本工事は、頭首工の摩耗対策として、主に表面コンクリートをハツリ除去し、超高強度繊維補強コンクリートパネル(A=1,223㎡)に置換えるものです。

置換え工事は3月中旬時点で約1,100㎡が完了しており、3月末までには全数量が完了する予定です。その後仮締切りの撤去等を行い、5月末に全体工事を完了する工程で工事を進めています。

釜無川支所職員の方々のご指導・ご協力も賜り、これまで無事故で推移しております。最後まで気を抜くことなく無事に竣工することを目標に、職員一同努めてまいります。



監督職員からのエール

頭首工自体、用水量を満たす上で副水源という位置づけですが、通年取水であるが故に施工中であっても取水の確保が必要なため、施工中の仮取水口の設置を行う必要がありました。併せて、頭首工取水ゲート設備、土砂吐ゲート設備の改修も、昨年11月から本年5月までの非出水期1期で完成させる計画で発注したものです。

1期だけの河川内工事と限られた施工期間の中でも施設機械工事との工程調整、現場内の安全管理など、監督職員とも連携して円滑かつ安全に工事を進めることが必要でした。

このような現場条件の中で、現場代理人の渡邊さんは、確実な冬期用水確保のための仮取水口の設置や共有する現場での安全管理の徹底、監督職員や施設機械工事受注者とも良好な関係を構築し、工期内の完成に向けた施工に努めていただき感謝しております。

今後も、安全管理に留意し、労働災害無で完成するよう、お互い協力していきましょう。

監督職員

(写真右) 関東農政局西関東土地改良調査管理事務所
前釜無川支所長 原田 浩充
(4月1日より、荒川中部農業水利事業所 調査設計課長)

現場代理人

(写真左) 株式会社奥村組
農政徳島工事務所 渡邊 知成

